

ふるさと 夢

With pride for kinokura Making your dream comes true!

木倉小学校 学校便り
令和8年6月5日
文責:校長 梅田 幸博

集団宿泊教室

5年生は、5月28日・29日に集団宿泊教室を行いました。28日は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施し、水俣病問題や環境問題について学習しました。「水俣病」についてはご存知と思いますが、チッソという水俣の工場が、科学的な処理をせず海に流したメチル水銀を原因とする「公害病」です。メチル水銀は、魚介類を経て、それを食べた人間の中樞神経を破壊し、多くの人の命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりしました。また、母親の胎盤を通して、生まれながらに障がいをもつ胎児性患者を生み出しました。「水俣病」の問題は、決して水俣だけの問題ではなく、私たちの問題だと考えています。5年生は今回とても貴重な経験をしました。今後の生活に生かしてほしいと思います。

また、あしきた青少年交流の家では、ペーロン体験を含め、全てのプログラムを予定通りに実施することができました。子どもたちにとっては、みんなで宿泊し、経験したことのないことを経験できたことはとても良い機会だったと思います。

さて、出発にあたり、私から感謝と努力について話をしました。

①感謝については、宿泊教室の実施に向けて、先生方、保護者、施設の方々、バス関係者などたくさんの支援があることに感謝をしてほしいということ。

②努力については、集団宿泊教室を充実したものにするためには、「気付き、考え、行動しながら」一人一人が努力をしてほしいということ。

宿泊教室は、子どもたちにとってとても大切な行事です。それは「体験することでしか得られない心や体の成長がある」と考えるからです。子どもたちは、2日間に渡って「楽しむこと」や「けじめをつけること」など、メリハリをつけながら生活をしました。また、自然の家の職員の方々から「頼もしい5年生ですね。」とお褒めの言葉をいただいたと聞いています。子どもたちにとって、将来につながる経験だったと思います。きっと、今後の学校生活に生かされ、木倉小のリーダーに成長していくものと期待しています。

様々な点でご理解とご協力をいただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

米づくり・野菜づくり

5月12日に福島さん(畑の先生)に来校いただき、5年生が米づくりについて学びました。米ができるまでに必要な作業やつくっている方々の思いなど、初めて知ることが多かったと思います。現在、苗床づくりをした花壇には、すくすくと苗が育っています。今後は代掻きや田植えへと進めていきます。子どもたちも苗の生長を楽しみにしています。福島さんには、5年生の米づくりだけでなく、低学年の野菜づくりなどでもお世話になります。

